

駿河西病院 2025年に向けた具体的対応方針（平成30年7月）

I 現状と課題

1 病院の現状

- ・許可病床数、200床 稼働病床数（療養病床150床、回復期 50床）
- ・診療科目 内科・リハビリテーション科
- ・診療実績（療養病棟入院基本料2、回復期リハビリテーション料6）

平均在院日数 204.3日

- ・医師数、看護職員数 医師 4.6人 看護職員 55人

・病院の特徴

療養型からの回復期リハビリテーション

認知症の方のリハビリテーション

療養病床150床

2 病院の課題

- ・回復期リハビリテーションの受け入れが地域のニーズにあっているか  
区分がつかない療養の患者さんの受け入れは引き続き検討課題  
患者さんのニーズによっては介護医療院の検討もしなくてはならないのではないか

II 今後の方針

1 地域において今後担うべき役割

回復期リハビリテーションを経て在宅へという流れの確立

医療区分のパーセンテージをみながら、区分のない方の受け入れも充実していく

2 4機能ごとの病床のあり方

(1) 今後の方針（病床機能報告から転記）

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期	50		50
慢性期	150		150
(合計)			

(2) 今後持つべき病床機能等（病床機能の転換を検討している場合に記載）

地域包括ケア病床 介護医療院

(3) 具体的な方針及び整備計画（病棟機能の変更がある場合）

(4) 年次スケジュール（病棟機能の変更がある場合）

3 診療科の見直し（見直しを検討している場合に記載）

(1) 今後の方針

	現在 (本方針の策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

(2) 具体的な方針及び計画